

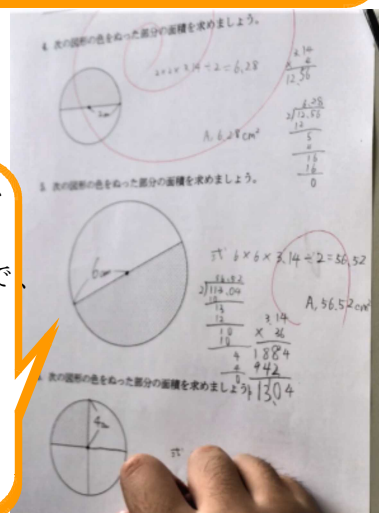
9月13日（火）第4回石上小乗り入れ授業 14:05～

6年算数

めあて：円の面積を利用して体積を求めよう

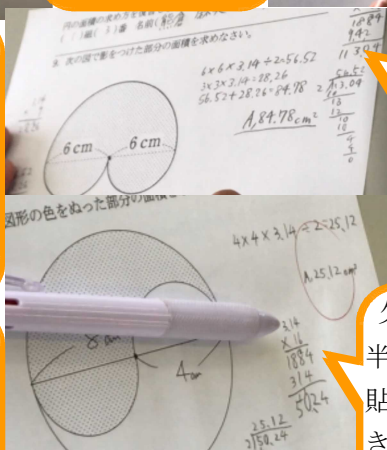
対話的な学びにより、円の面積の求め方、

半径×半径×3.14であったことを思い出させ、公式をしっかりとおさえていた。

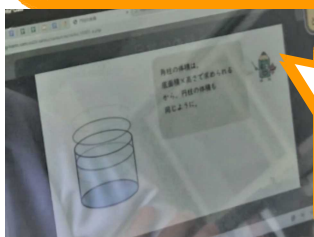


既習事項の確認のため、基本問題から応用まで数多くの問題演習をした。ほとんどの児童が、基本的な計算が身についていた。

○をもらった児童が、他の児童の丸つけをし、丸をもらった児童がさらに他の児童の丸つけをする。ことで、加速的に答え合わせができ、さらに自然に対話的な学びが、効率よく実践されていた。

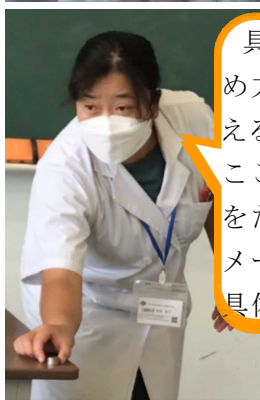


下についた小さな円を切り取ると一つの円ができることを理解できた児童が多くいた。

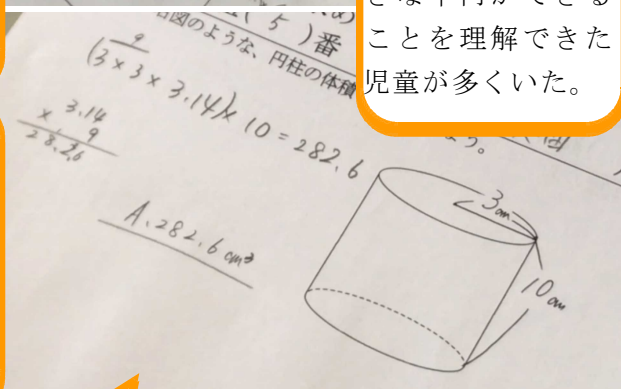


クロームブックで体積のとらえ方のイメージをつかむ

欠けた半円に下の半円を切り取って貼り付けると、大きな半円ができることを理解できた児童が多くいた。



具体物で体積の求め方のイメージを捉える。
ここでは100円玉をたくさん重ねてイメージさせていた。
具体物から抽象化へ



円の面積の求め方の問題演習をしっかりと行ったことで、ほとんどの児童があつという間に体積を出すことができた。